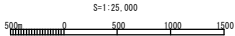
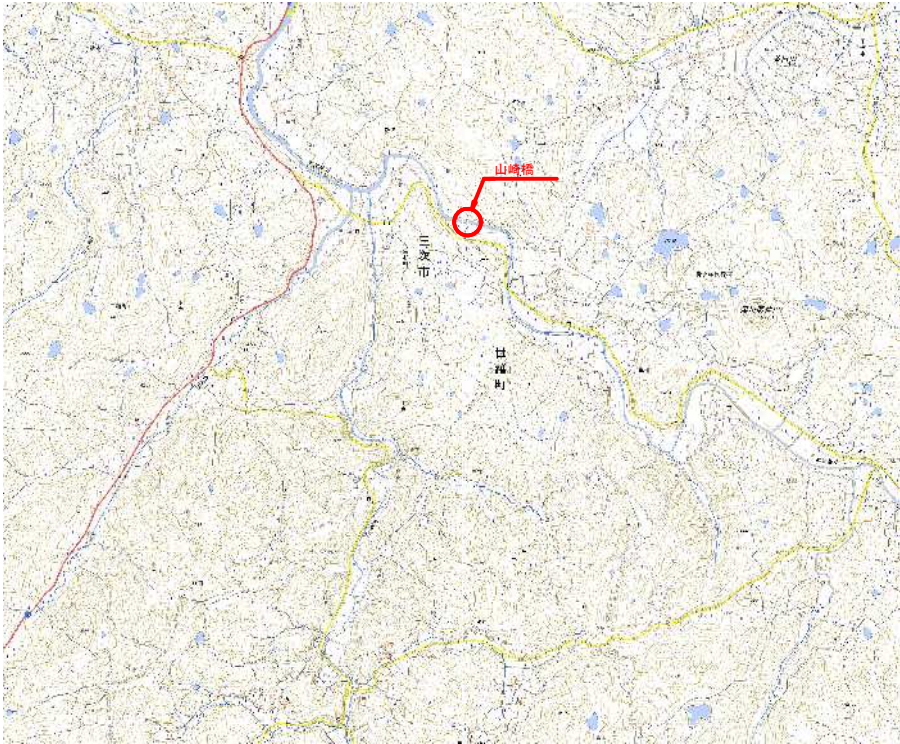
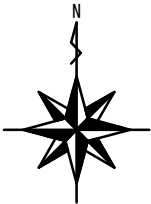


位置図

S=1:25000



国土地理院発行 地形図「数値」「簡便小図」を使用

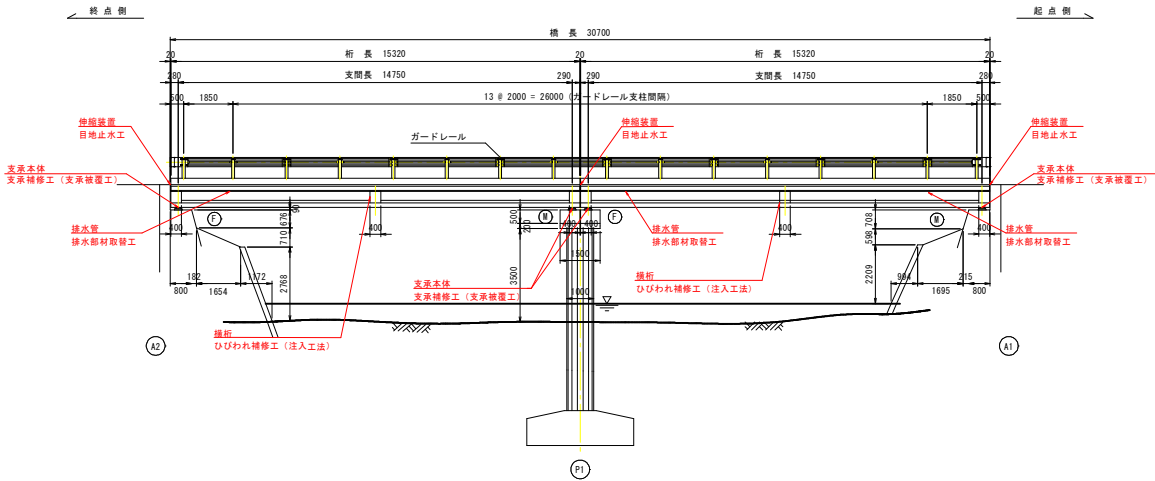
【山崎橋】

工事名	設計第23号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	位 置 図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

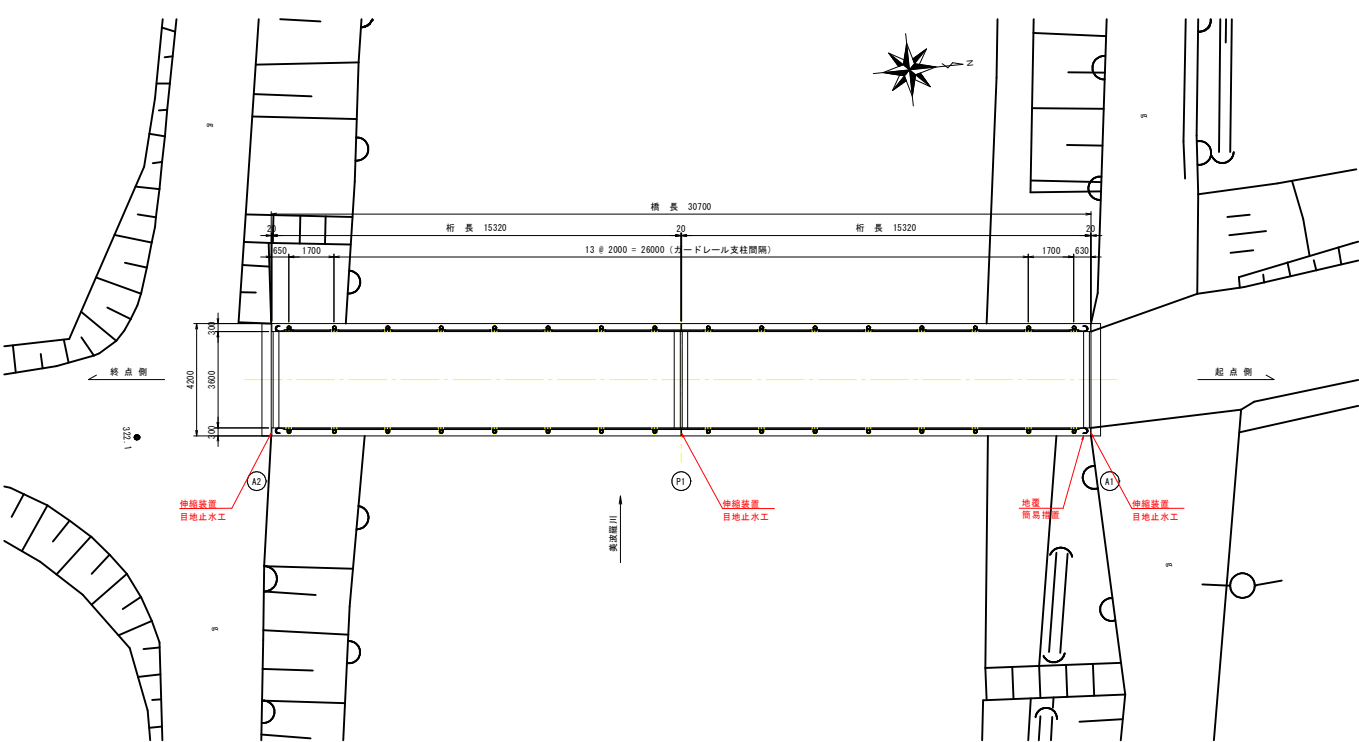
山崎橋 補修一般図

S=1:100

側面図



平面図

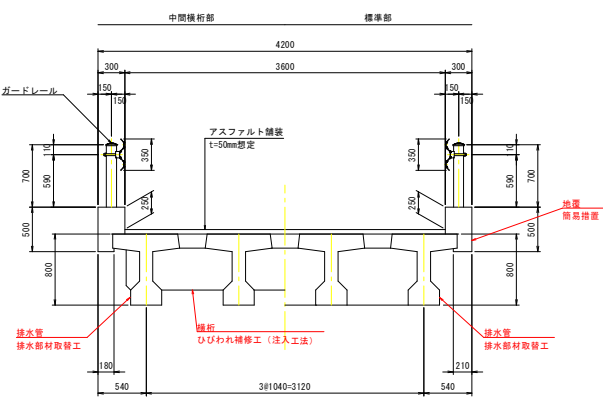


補修項目一覧表

部 位		工 種	損傷判定区分
上部工	橋 桁	ひびわれ補修工（注入工法）	C1
支保部	支保本体	支保補修工（支保被覆工）	C2
路上	伸縮装置	目地止水工	C1
	排水管	排水部材取替工	C1
	地覆	崩落措置	B

横断面図

S=1:30



【山崎橋】

工事名	設計第32号 橋梁整備設計業務委託 (15m以上)
図面名	補修一般図
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	図示 図面番号 2 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業所名	三次市 建設部 土木課

注記)  
1) 本図は、橋梁定期点検調査を基に復元した。  
2) 支保については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。

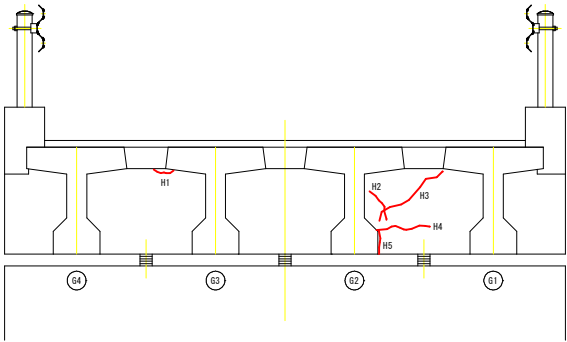
山崎橋 補修図(その1)

S=1:20

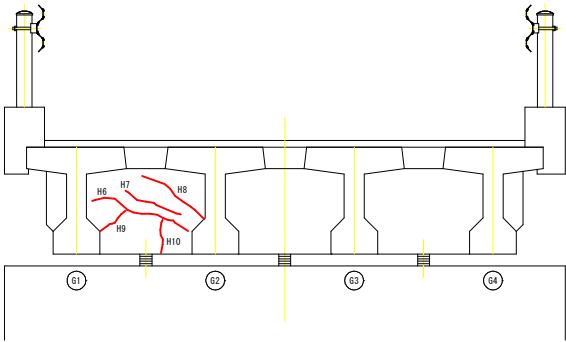
ひびわれ補修工（注入工法）

第1径間（A1-P1径間）（端部横桁）

S1 (P1側)

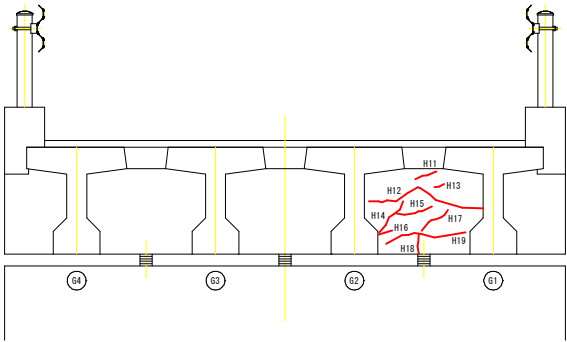


S2 (A1側)

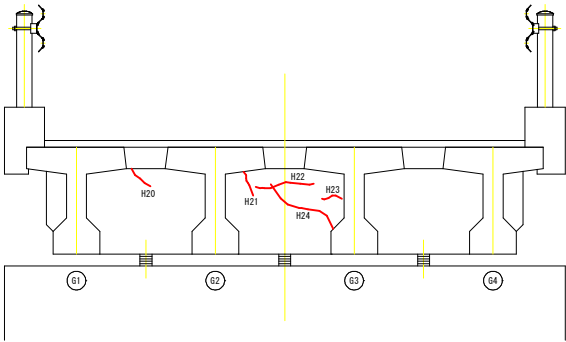


第2径間（P1-A2径間）（端部横桁）

S3 (A2側)

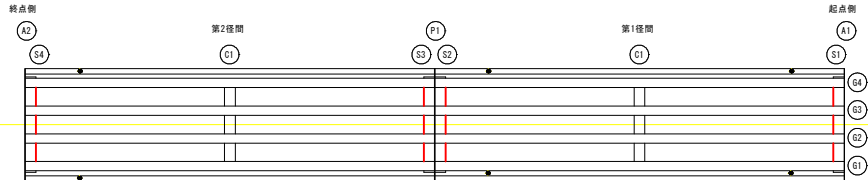


S4 (P1側)

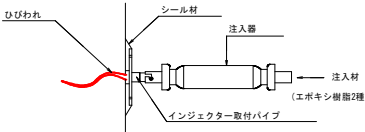


位置図

S=1:100



ひびわれ注入工詳細図



【ひびわれ注入工】  
※ひびわれ0.2mm以上1.0mm未満に対して施工する。  
※数量算出条件  
・ ひびわれ深さ 120mm  
・ 注入器は300mm間隔とする

横桁<ひびわれ注入工>

記号	寸法		記号	寸法	
	W (mm)	L (mm)		W (mm)	L (mm)
H1	0.20	150	H14	0.20	300
H2	0.20	250	H15	0.20	300
H3	0.20	600	H16	0.20	100
H4	0.20	400	H17	0.20	250
H5	0.40	200	H18	0.20	150
H6	0.40	750	H19	0.20	600
H7	0.20	450	H20	0.30	200
H8	0.20	600	H21	0.20	200
H9	0.30	300	H22	0.30	450
H10	0.20	250	H23	0.20	150
H11	0.20	200	H24	0.20	600
H12	0.30	950	計		8500
H13	0.20	100			

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	空洞・空孔
	路面のクラック
	漏水・潮水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【山崎橋】

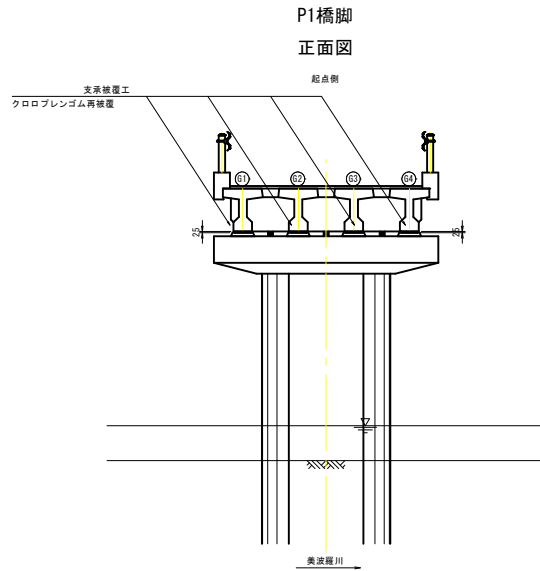
工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)
図面名	補修図(その1)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:20
図面番号	3 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業所名	三次市 建設部 土木課

# 山崎橋 補修図(その2)

S=1:50

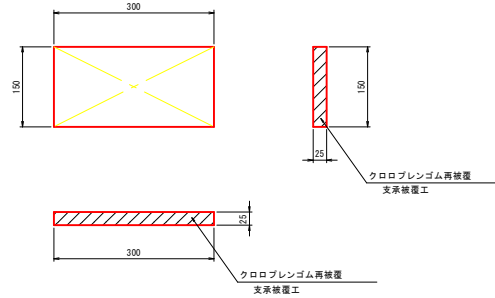
下部工 (P1橋脚, A1・A2橋台)

支承部補修工 (支承被覆工)



P1 (起点側) 支承被覆詳細

S=1:5

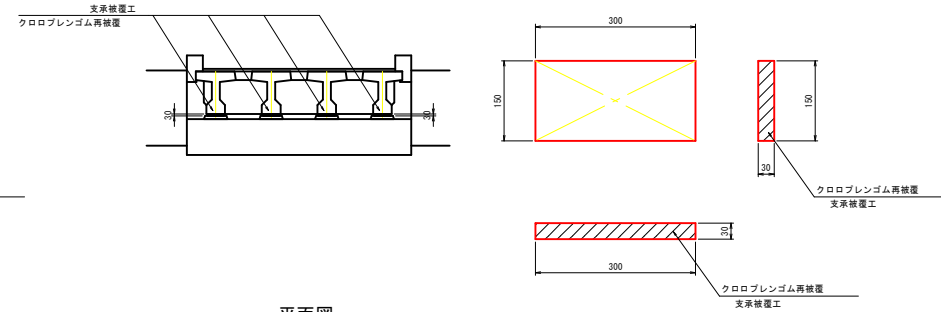


A1・A2橋台

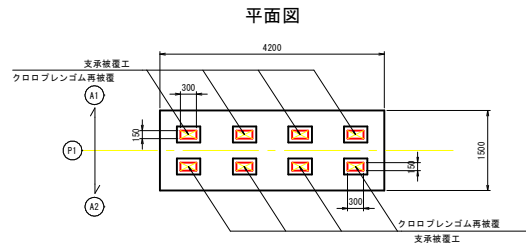
正面図

A1・A2 支承被覆詳細

S=1:5

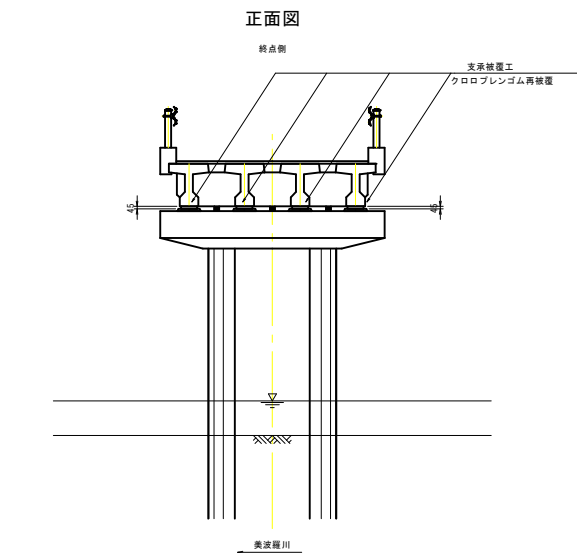
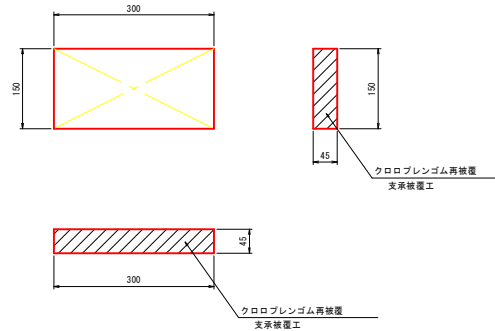


平面図



P1 (終点側) 支承被覆詳細

S=1:5



支承被覆工数量表

箇所	数量 (基)	面積 (m2)
P1 (起点側)	4	$(0.30+0.15) \times 2 \times 0.025 \times 4 = 0.090 \text{ m2}$
P1 (終点側)	4	$(0.30+0.15) \times 2 \times 0.045 \times 4 = 0.162 \text{ m2}$
A1	4	$(0.30+0.15) \times 2 \times 0.030 \times 4 = 0.108 \text{ m2}$
A2	4	$(0.30+0.15) \times 2 \times 0.030 \times 4 = 0.108 \text{ m2}$
合計	16	$0.090 + 0.162 + 0.108 + 0.108 = 0.468 \text{ m2}$

注記)

1) 狭幅部であるため、剛毛・ヘア等を用い、可能な限り塗布すること。

## 【山崎橋】

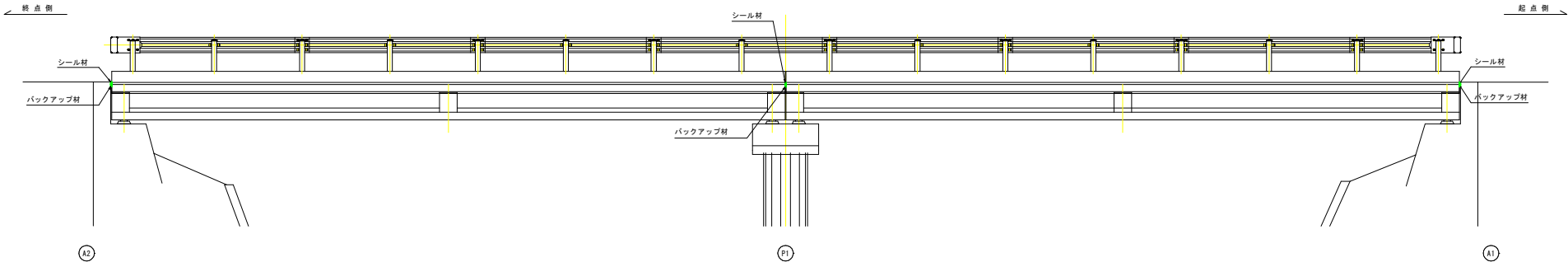
工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	補修図(その2)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

山崎橋 補修図(その3)

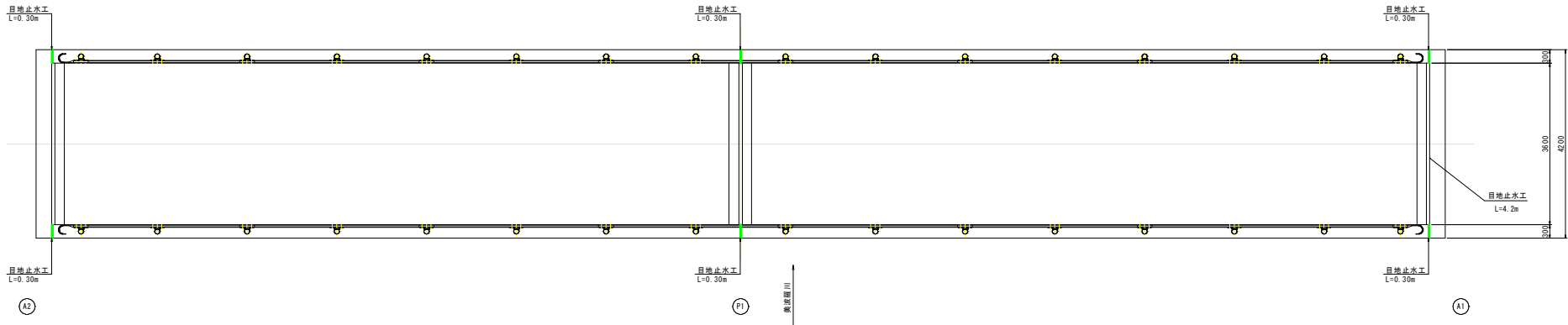
S=1:50

橋面  
目地止水工

側面図 S=1:50

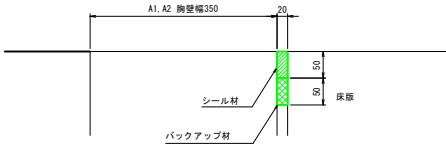


平面図 S=1:50



目地止水工詳細図

S=1:5



目地止水工数量表

種 別	規 格	単 位	数 量	備 考
シーリング材	中性シリコン	?	1.8	
バックアップ材		?	1.8	

注記)  
1) 本図は、精度定規点検調査、現地調査を基に復元した。  
2) 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

【山崎橋】

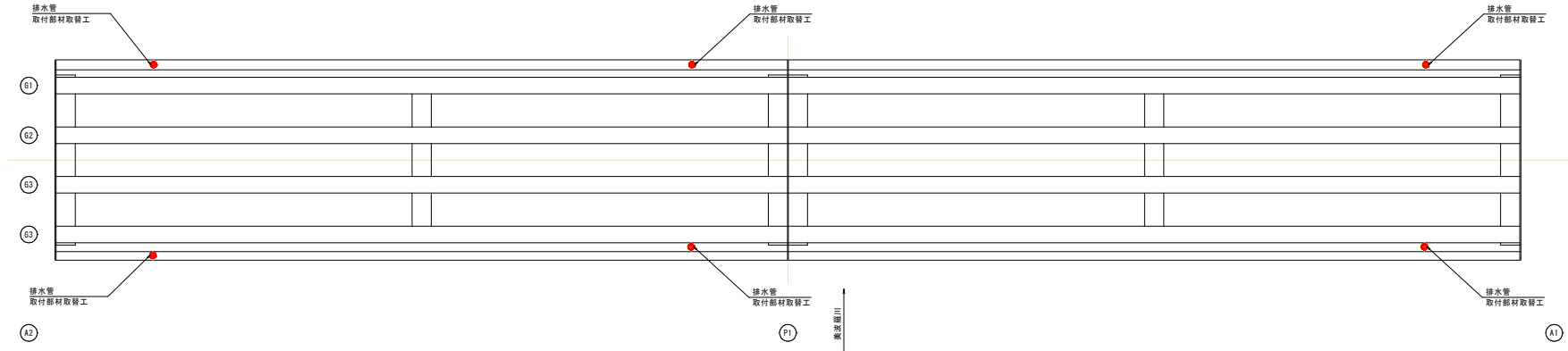
工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)
図面名	補修図(その3)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50, 1:5
図面番号	5 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

山崎橋 補修図(その4)

S=1:50

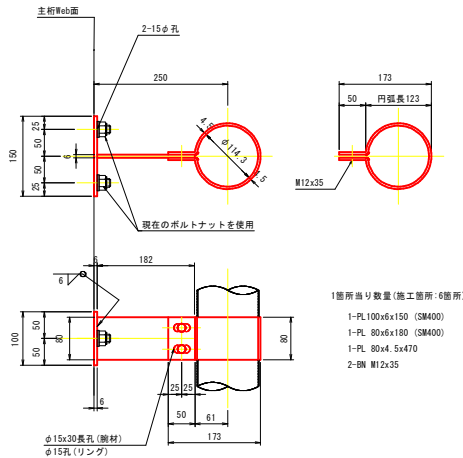
桁下面  
取付部材取替工

桁下面図 S=1:50



排水管支持金具  
(主桁取付)

S=1:5



【山崎橋】

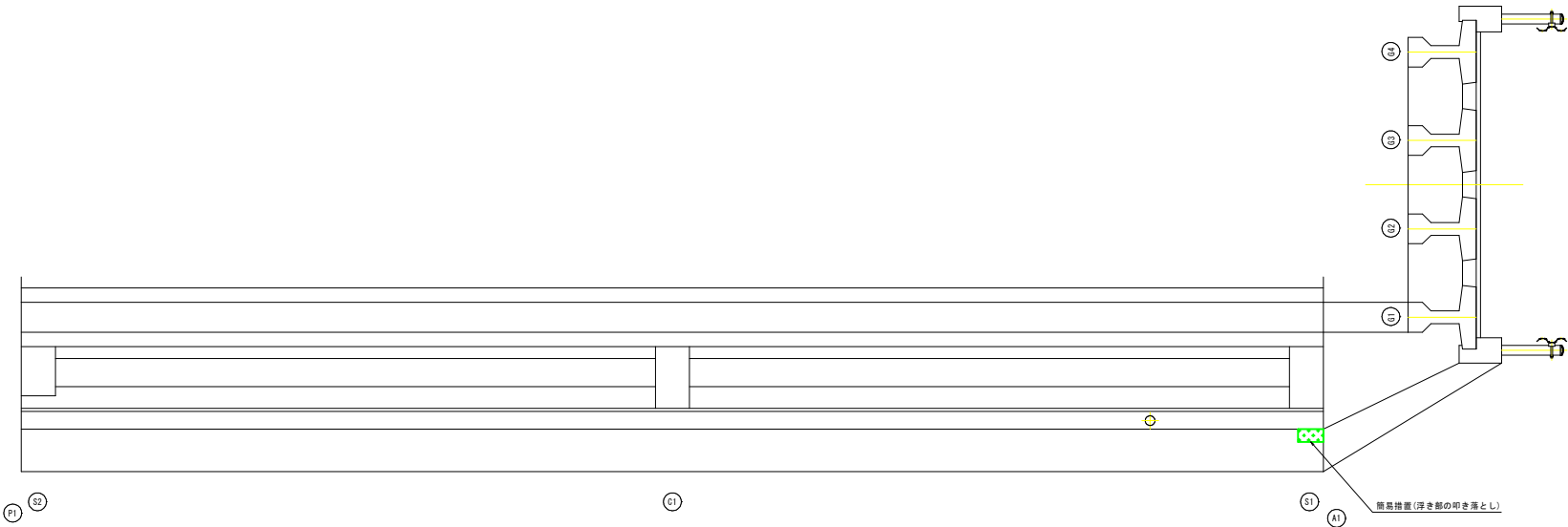
1) 本図は、構造定期点検調査、現地調査を基に作成した。  
2) 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。  
3) 補修工事にあたり寸法等は再度現地確認を行って確認すること。  
4) 特記なき鋼材は全てSS400とする。  
5) 鋼部材は全て溶融亜鉛メッキとする。  
亜鉛の付着量はJIS H8641 H0Z149～H0Z177とする。  
但し、ボルト、ナット類はH0Z149とする。

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)
図面名	補修図(その4)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50, 1:5
図面番号	6 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

山崎橋 補修図(その5)

S=1:30

第1径間 (A1-P1径間, 桁下面)  
簡易措置



凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済み及健全

簡易措置数量表

細 別	規 格	単 位	数 量	備 考
簡易措置	浮き部の叩き落とし	m <sup>2</sup>	0.045	上塗りモルタル製補 0.15m×0.3m = 0.045m <sup>2</sup>

【山崎橋】

工事名	設計第22号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	補修図(その5)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	7 / 7
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		